

ARAI NEWS

Actual Story From Inside.



みんなで応援しよう。
Araiも応援しています。
平忠彦選手 中嶋悟選手

1987年もういよいよ、レースシーズ
ン開幕間近となってきました。月日のた
つのは早いもので、アライが本格的にレ
ース活動をするようになってからもう十
年以上になります。その間、安心して走
りに集中出来るような安全性と快適性を
兼ね備えたヘルメットを作ろうと努力し
てきました。まじめにヘルメットを作り
続けてきたのが認められたのでしよう。
今では世界のトップレーサーがアライを
選んでくれるようになりました。今シー
ズもフレディ・スペンサー、マイク・
ポールドウィン、ロン・ハスラム等に加
え、新たにランデュー・マモラ、クリス
チャン・サロンというすばらしいライダ
ーもアライを選んでくれました。でも、
レース活動を始めた当初は世界チャンピ
オンとかF1GPのドライバーなんて
譽の上の存在、今にああいう人達にも被っ
てもらえるようになりたいと夢に描いた
ものです。そして、そんな夢に向かって
突き進むうち、ふと気がついたら夢が現
実のものになっていたと言うのがこの十
年でした。これも皆さんのおかげ、本当
にありがとうございます。

でも、アライがかねがね願っていたの
は、日本人レーサーが世界の権勢台で頂
点に立つて欲しいということでした。こ
こ数年、アライレーシングスクールを開
いてきたのも、そんな願いが根底にあっ
たからです。そして今年、そのアライ
の夢というより、レース好きの人達みん
なの夢が大きく現実になつてくること
です。一つは、皆さんご承知のように
平忠彦選手がオートバイレースの頂点、
世界500cc GPに全戦参加すること。

もうひとつは4輪レーサーの中嶋悟選手
が名門チームロックスよりF1に参戦す
るに本格的な参戦してくれることです。
アライはこの方々とお付き合いも長いので
本当に喜んでいました。

平忠彦選手は「レースを始めた時から
アライ」と言う人です。彼は福島出身
ですが、レースを始めたのは丁度、埼玉
県上尾市に住んでいた頃でした。アライ
のある大宮市とは隣同士なので、ジュニ
アの頃からよく遊びに来てくれ
ました。このアライニュース誌上でも、
80年9月号でエキスパートライターの生
活を紹介しようということで「平忠彦の
場合」という題で登場して貰ったことも
あるんです。その中で平忠彦選手は、「食っ
て寝る以外、全てをレースにつきこんで
いるので何をしようにもできない。だが
レースをして良かったと思っている。だ
どうしてなんて聞かれても理屈つな
わからない。夢は、ヨーロッパでもゼ
ン取れるレーサーになりたい。出来るか
どうかは分からないけど、やれるだけや
つてみる」と語っています。それからの活
躍はもう説明を要しないところですが、
その当時と今ではまるで別人のように成
長しています。何度もチャンピオンを取
りながらうめばれる事なく、常に努力
してきた事、それが今日の平忠彦選手を
出したのでしよう。「日本一になった」
とうかかれていたようだった今の平忠彦
はなかつたはずですよ。

中嶋悟選手も初めてヘルメットを作ら
せて頂いたのが1977年の終わりの事
ですから、もう十年來のお付き合いにな
ります。「市販のものでは、頭のサイズ

が小さいためにフィットしない。ぐらつ
くので、頭の上にタオルを置いてかぶっ
ているけど、なんとかしてくれないか」と
相談されたのが最初でした。中嶋選手
は当時から常にヨーロッパに目を向けて
いて、翌年にはF13レースにチャレ
ンジするために渡欧。その第一戦でスタ
ート直後に宙を舞う大クラッシュ。頭
から真つさかさまに落ちてヘルメットで
助かった。アライにしといて良かった」と
というエピソードもあるのです。中嶋選
手はレースをクルールに捉えることの出来
る人です、エンジンやタイヤの状態を適
確に判断し、与えられたマシンの能力を
最大限に活かすことを考えレースに勝ち
続けてきました。いかなる状況でも狂う
ことのない正確な判断力は、レーシング
カーの開発にも発揮されました。ホンダ
がF1世界制覇を成し遂げた影には、
中嶋選手の貢献も見逃せない事実です。

世界の権勢台での活躍を期待される岡
選手、人柄も良く本当に走ることが好き
なプロフェッショナルです。ちよつと有
名になると天狗になり、無理難題を言
いだすような人もレーサーの中にはいるも
んです。この二人に限ってはそんな話、
一度も出たことがありません。そんな人
柄の良さからも、アライは本当に応援し
たくなるんです。皆さんも二輪四輪ファ
ン問わず、この二人に注
目し、是非応援して上げ
て下さい。

お願いしますよ

